
チキンの回遊

イエモン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

チキンの回遊

【Nコード】

N4479C

【作者名】

イエモン

【あらすじ】

人生を謳歌しきれないでもがく主婦の私。たまたま出会った不思議なおじさんに教えてもらったこと。それは…

（前書き）

初めて投稿しました。

「チキン」。確かにおじさんのＴシャツの胸にはそう書いてあった。
薄汚れたベージュの帽子と作業ズボン姿。

品祖な三角定規の様な輪郭には頬からアゴにかけて、色つやのない
髭が生えている…。

弱冷房の車両の中で、明日にもホームレスになりそうな身なりのお
じさんは、胸の文字が指す意味とは正反対に、実に堂々と座ってい
た。

エンジのＴシャツに白字で縦に書かれたその書体は、まるで筆でな
ぐり書きしたかの様に力強くて…おじさん同様、堂々としていた。

梅雨だというのに雨ひとつ降らない真夏の様な暑さがもう何日も続
いていた日のことだ。

旦那に高校の同窓会と嘘をついて帰省するために乗り合わせた車中。

私はこれから子供を実家に預けて男に逢いに行く。

何度となく理由をつけては、３年位こんな事を繰り返してきた。

旦那を愛せなくなったのが先か、彼を好きになったのが先だったの
か…。

今となつては自分でも解らない。

ただ、旦那の部下でもある6歳下の彼は、愛し合つてゐる最中でさえ一度も「好き」と言つてくれた事は無い。

冷えきつた夫婦関係に終止符を打つことも、修復の努力に励むパワーもない。

たった一人好きでたまらない彼に、私に対して愛があるのか？つて問ひただす勇気もない…。

子供の頃観たテレビ番組でマグロは泳ぐのを止めると死んでしまふと聞いたことがある。

私と彼との月一の関係も回遊だ。

現実逃避のための…。

止まったらきつと死んでしまふだろう…。

彼の気持ちは薄々わかつているから…。

車窓のネズミ色のカーテン越しからも、外の陽射しが強烈なのがかかる。

それはどんどん熱と光を増していく。

おじさんは目的の駅に着いた様子で、私の向かいの席から立ち上がった。

ねっとりした暑さを振り撒きながら、迷いなく開いたドアに吸い込まれるその後ろ姿を見て泣きたくなつた。

おじさんの背中には「小心者」と書かれていた。

こんな小さな嘘とプライドでしか自分を支えられない私にはその言葉たちが突き刺さってくる。

「私ってチキン野郎だ…」

呟くわたしに息子は、家から持ってきた絵本を読んでとせがむ。なるべく優しい声で、私は息子のお気に入りの本を読み始めた。

（ 回遊が終わっても、息できるかなあ？）

さっきより少し、前に進んでみる想像をする私が出た。自分がちょっと好きになった気がした。

（後書き）

読んで頂いてありがとうございました。感想伺えたら幸いです！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4479c/>

チキンの回遊

2011年1月2日14時17分発行